

「DX認定」を取得しました。



2024年6月1日、経済産業省が定めるDX認定制度に基づき「DX認定事業者」としての認定を取得しました。

DX認定制度とは、「情報処理の促進に関する法律」に基づき、「デジタルガバナンス・コード」の基本的事項に対応する企業を国が認定する制度です。

当社におけるDXへの取り組みについては、以下をご覧ください。

AXIS HOLDINGS Inc.

株式会社アクシスホールディングス

DXへの取り組み

策定：2024.4

1. 会社概要	3
2. トップメッセージ	4
3. ビジョン・事業ドメイン	5
4. DX推進の方向性	6
5. DX戦略	7
6. 組織・体制	9
7. 環境整備	10
8. 指標	11

# 会社概要



Design a connected future

AXIS HOLDINGS Inc.



Design a connected future

AXIS LINK Inc.



Design a connected future

AXIS INNOVATION Inc.

商号	株式会社アクシスホールディングス
所在地	〒861-5512 熊本県熊本市北区梶尾町1301-2
設立	2019年5月
事業内容	ITコンサルティング・ソフトウェア設計開発 ネットワーク及びサーバー構築、IT研修及びセミナーの企画運営 有価証券の投資及び売買並びにその他の投資事業
商号	株式会社アクシスリンク
所在地	[本社] 〒861-5512 熊本県熊本市北区梶尾町1301-2 [福岡開発センター]〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東2丁目4-17 第6岡部ビル2F H号 [横浜開発センター]〒231-0012 神奈川県横浜市中区相生町2-42-3 横浜エクセレントXVII 4階B
設立	2015年7月
事業内容	ソフトウェア開発、ネットワーク及びサーバー構築 WEBデザイン、ホームページ企画・制作
商号	株式会社アクシスイノベーション
所在地	〒861-5512 熊本県熊本市北区梶尾町1301-2
設立	2020年12月
事業内容	衛星測位と低電力無線技術を活用した業務支援ソリューションの提供など

## トップメッセージ

# もっとつながるワクワクする未来へ ITの無限大の可能性を信じて

経済社会はデジタル化が進み、大きな変革期を迎えています。企業におけるDXの推進は必要不可欠となり単に業務をデジタル化することに終わらずデジタル技術によって既存事業に変革を起こしたり、新たな価値を創造したりすることが求められています。

さらなるIT技術の進化とサービスが求められる中で、アクシスホールディングスグループはIT企業として、AIやIOTなどの新たなデジタル技術を使い、様々な産業やサービスでのコスト削減や業務効率化、顧客視点での新たな価値の提供を行っております。

創業当時から最も大切にしてきたことは、“人と人との繋がり”、そして“地元企業との戦略的連携や協力体制の構築”です。生まれ育った故郷・熊本に軸を置き、「地域に根ざした経営」を理念に、“何がその地域で求められているのか”“その地域で何が展開されようとしているのか”といった地域課題の傾向や動向を踏まえ、その課題を事業機会と捉えて弊社の強みを活かしてDXを推進し、課題解決に貢献します。

2024/04 代表取締役社長 中村光宏



## ビジョン

「そんなことできるの!？」  
驚き、喜び、感動をすべての地域・企業・人へ

「ITの手カラで叶える豊かな未来」。皆さんはどんな世界を想像しますか？

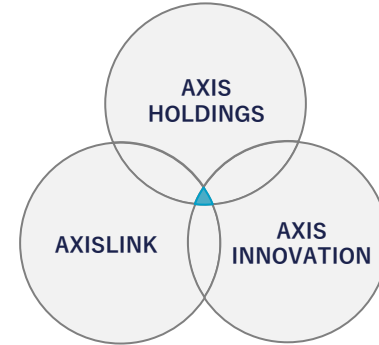
どこにいても子どもやお年寄りを見守ることができるシステムの開発がすでに進んでいます。また、弊社では衛星を利用し、畜産家が自宅にしながら牧場の家畜を管理するシステムを提供しています。ITを活用すれば物理的な距離をゼロにすることができ、アイデアと技術次第で暮らし方や仕事の仕方を一変させることができます。

仕事の質も、生活の質（クオリティオブライフ）も向上できるとしたら、ワクワクしてきませんか？「えっ！そんなことできるの!？」と書いていただけるようなアイデアと技術を私たちは提供し、すべての地域・企業・人にとってより良い未来を創造してまいります。



## 事業ドメイン

専門性の高い3社の連携が生み出すシナジー。  
ワンストップで多様な課題を解決へと導く



3社は、それぞれプロフェッショナル集団です。コンサルティングに特化した「アクシスホールディングス」は、お客様の課題を把握した上で解決策を提案。その際にシステムの開発が必要となればIT設計・開発の実績豊富な「アクシスリンク」と連携し、衛星測位サービスが必要となれば「アクシスイノベーション」と連携することでシナジー（相乗効果）が生まれ、クオリティの高いサービスをワンストップで提供することができます。

# DX推進の方向性

リソースを集中する

グループの強みを生かした、社会課題の解決に貢献するシステムの開発と提供

戦略1：衛星測位技術、低電力無線技術を用いたシステムの開発・提供

生み出したリソースをシフト

リソースを生み出す

リソースの強化を行い、多くの案件を受注できる体制構築

戦略2：バックヤード業務システムの自社開発と拡販

戦略3：新たなシステム開発手法の採用

戦略4：デジタルを活用した採用マーケティングの実施

# DX戦略

## 戦略1

### 衛星測位技術、低電力無線技術を用いたシステムの開発・提供

当社グループが強みにもつ「衛星測位技術」と「低電力無線技術」を駆使し、地域課題の解決に貢献できるシステムを開発・提供していきます。お客様の課題抽出にはアクシスホールディングス、課題解決に向けたシステム開発にはアクシスリンク、開発前提となる技術の開拓にはアクシスイノベーション、グループ一体となって課題解決にあたっていきます。また、ユーザーの位置情報データ等を収集・分析し、ユーザーの行動パターンを把握し、安全性を高めるための新機能（例：異常行動の検知と通知）等を開発し、顧客価値を創出します。

#### ■ 具体施策

- ・ 衛星測位技術、低電力無線技術を用いた防災支援システムの開発
- ・ その他地域課題解決に向けたシステムの開発

## 戦略2

### バックヤード業務システムの自社開発と拡販

勤怠管理、案件管理等のバックヤード業務を効率化するシステムを自社開発し、社内リソースの創出を行います。また、開発したバックヤード業務システムはお客様へ拡販を行い、お客様の業務効率化に寄与します。

#### ■ 具体施策

- ・ 勤怠管理システム・案件管理システムの開発
- ・ ユーザーの利便性を追求した機能追加とUI/UXの改善



# DX戦略

## 戦略3

### 新たなシステム開発手法の採用

ウォーターフォール開発に加え、アジャイル開発やDevOpsなどの手法を取り入れ、迅速な開発サイクルを確立します。開発サイクルの迅速化により、納品までの期間短縮や受注件数の増加を行います。

#### ■具体施策

- ・新たな開発手法の社内試用
- ・新たな開発手法を使用したシステム開発（本運用）

## 戦略4

### デジタルを活用した採用マーケティングの実施

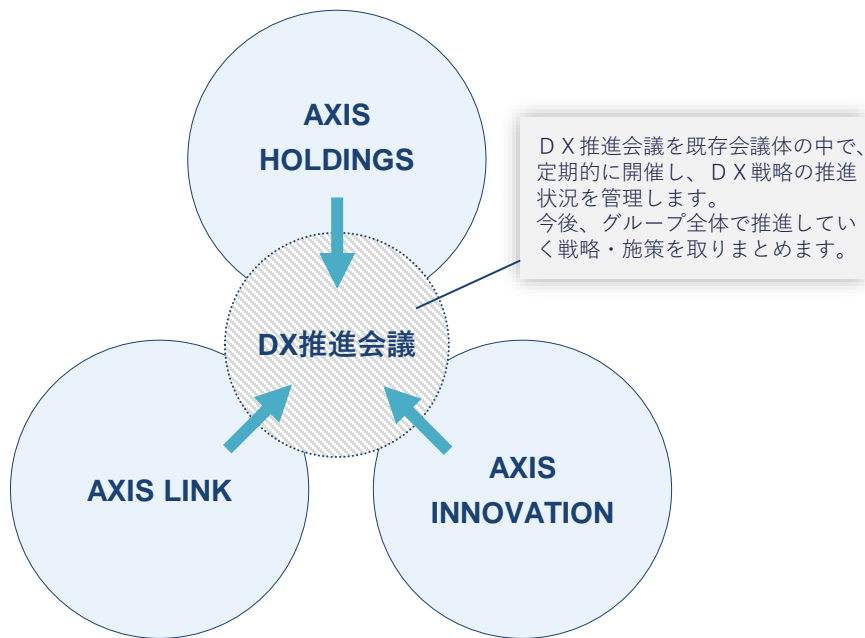
SNSやHP、動画等を活用し採用マーケティングを行います。HPへのアクセスデータの分析を行い、自社の認知や興味を持ってもらえるコンテンツを定期的に改善していきます。求職者の応募数や面談件数の増加を図ります。

#### ■具体施策

- ・SNSやHP、動画を用いた自社紹介コンテンツの発信
- ・HPへのアクセスデータの分析と分析結果を用いたデータの改善

# 組織・体制

## D X 推進体制



紐づく戦略	組織・体制整備の施策
戦略全て	D X 推進会議の開催
戦略 1	衛星測位技術と低電力無線技術に特化した専門エンジニアの育成
	外部協業企業と連携した開発体制構築
戦略2	バックヤード業務システム開発チームの任命
	社内開発したシステムに対するフィードバックの仕組み構築
戦略3	開発体制の定期的な見直し
	外部協業企業との人材交流
戦略4	新しい開発手法に関する研修会参加
	採用マーケティング担当者の設置

紐づく戦略	環境整備の施策
戦略全て	2要素認証等を用いたセキュリティ対策の強化
戦略1	開発に必要な最新のハードウェアとソフトウェアを導入
戦略2	バックヤード業務の業務フロー図の策定と課題の分析
戦略3	開発ノウハウのナレッジ蓄積chの設置（社内情報共有ツール内）
戦略4	S N S、求職者向けH Pの設置
	アクセス解析ツールの導入

# 指標

## 戦略1

衛星測位技術、低電力無線技術を用いたシステムの開発・提供

- ▶ 「衛星測位技術」と「低電力無線技術」を用いたシステムの販売数

## 戦略2

バックヤード業務システムの自社開発と拡販

- ▶ 開発項目の進行状況（完了したタスク数/総タスク数）
- ▶ システムの機能開発数

## 戦略3

新たなシステム開発手法の採用

- ▶ 新たな開発手法の試用件数
- ▶ 納品までの期間の短縮

## 戦略4

デジタルを活用した採用マーケティングの実施

- ▶ 応募者数と採用者数
- ▶ 採用ページのアクセス数



*Design a connected future*

**AXIS HOLDINGS** Inc.